

★定時上映 2025年
1月25日(土)~4月13日(日)の土日祝

テーマ番組「季節をわけた女神」

長く厳しい冬が終わると、花が咲く春が訪れます。なぜ季節が生まれたのでしょうか。今回は農業の女神の神話をご紹介します。

星空解説「今夜、なにがみえるかな 2024 冬」

冬は明るい一等星が多く見られる季節です。ベテルギウス・リゲル・シリウスといった有名な星や、星座の形が分かりやすいオリオン座やふたご座も見ることができます。そんな夜空に輝く星々を紹介します。

脚本・演出：駒井仁南子 プログラム：佐藤幹哉

☆土日祝の上映時間
テーマ番組 10:00~/13:00~/15:00~
星空解説 11:00~/14:00~/16:00~
テーマ番組、星空解説ともに約20分

- ・定員：各回先着50名(上映1時間前から発券)
- ・費用：高校生以上100円(中学生以下無料)
- ☆平日のみ団体上映を受付(2日前までに要予約。ただし、休館日を除く)
- ☆春休みは平日も2回上映します 3月25日(火)~4月4日(金)
- ※水曜定休 14:00~星空解説 / 15:00~テーマ番組

★星空たんけん観望会
冬の星座と木星
~冬の大三角・オリオン大星雲を見よう!~

ハイアマチュア望遠鏡
& 電視観望!

日時：2月22日(土) 18:00~19:30 ※受付開始 17:30
18:00~18:30 天文教室
18:30~19:30 星空観望会

費用：100円(中学生以下無料)
定員：50名(小学生以下保護者同伴)
申込：2月3日(月)~2月21日(金)
水の館 TEL 04-7184-0555



★星空コンサート
CHITTA
星空コンサート

星の下で、大人女子が唄う
上質なポップソング

日時：3月15日(土)
①13:00~ ②15:00~
※上映1時間前から発券開始
出演：CHITTA

費用：300円 ※当日、定時上映は行いません。
定員：50名(小学生以下保護者同伴)



手賀沼周辺のイベント情報

※手賀沼周辺のイベントへのお問い合わせは
手賀沼課 TEL 04-7185-1484 へ

◆環境レンジャーネイチャーイン
「手賀沼冬鳥観察会」

たくさんの水鳥が集まる手賀沼の冬は野鳥観察のベストシーズンです。我孫子野鳥を守る会と環境レンジャーが探鳥の楽しさをお伝えします。

日時：1月26日(日) 午前9時30分から~11時
(受付9時15分~)

集合：手賀沼親水広場・水の館玄関前

対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

定員：先着申込30人

費用：無料

申込方法：1月17日(金)~1月23日(木)までに住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡ください。

申込・問合せ 手賀沼課 TEL: 04-7185-1484



◆クリーン手賀沼推進協議会
「遊覧船で手賀沼について学ぼう!」

我孫子市のシンボルである手賀沼を遊覧船から眺めてみませんか?手賀沼の歴史と現状、手賀沼で見られる生き物についてガイドいたします。

日時：3月25日(火) 午前10時30分~11時30分
(受付10時15分~)

※雨天・強風の場合は中止

場所：手賀沼公園内ボート乗り場「ボートセンター小池」前集合

対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

定員：各回30名(要申込)

費用：無料

申込方法：3月17日(月)~24日(月)までに住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡ください。

(家族、グループの場合は代表者の住所と電話番号、全員分の氏名と年齢が必要です)

申込・問合せ：手賀沼課 TEL: 04-7185-1484



2024年度
冬
Winter



我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなぎちゃん

まるで手賀沼の
朝焼けみたいに
幻想的だうな~

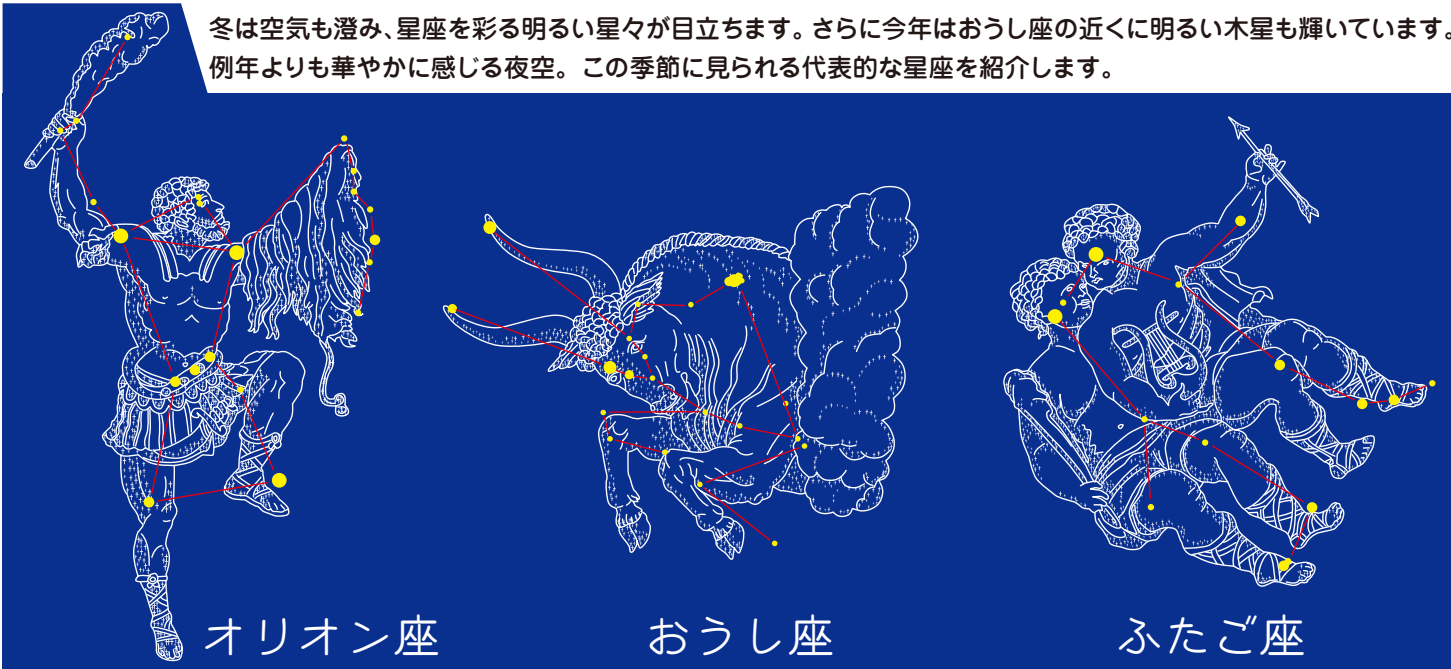
紫金山・アトラス彗星

2024年秋、紫金山・アトラス彗星が日本各地で
楽しみました。写真は新潟県で撮影されたものです。

© 千花 @photography

星座の物語 ～冬に見られる星座たち～

冬は空気も澄み、星座を彩る明るい星々が目立ちます。さらに今年はおうし座の近くに明るい木星も輝いています。例年よりも華やかに感じる夜空。この季節に見られる代表的な星座を紹介します。



オリオン座
冬の夜空に堂々と輝く星座です。ギリシャ神話に登場する狩人オリオンを星座にしました。星の並びから星座の姿を想像しやすいのも特徴のひとつです。1等星はベテルギウスとリゲル。ベテルギウスは星の最末期、リゲルは誕生間もない星です。他に星のゆりかごとも表現されるメシエ42（オリオン座の大星雲）も見られます。

おうし座
おうし座は黄道12星座のひとつです。この牛はギリシャ神話にててくる大神ゼウスの化身とされています。おうし座の肩の所に淡く光る星の集団はプレアデス散開星団。和名で「すばる」と呼ばれています。いくつの星が見えるかで目の良さを調べたという話が世界各国に残っています。

ふたご座
ギリシャ神話では仲の良いカストルとポルックスという双子の少年を星座にしたものとして語られています。二人はともに勇敢でアルゴ船という船に乗って様々な冒険をします。弟の星が1等星。兄の星が2等星と少し控えめに輝いています。12月中旬に見られるふたご座流星群としても有名です。

2024年秋の天文イベント

1月12日（日）地球と火星が大接近

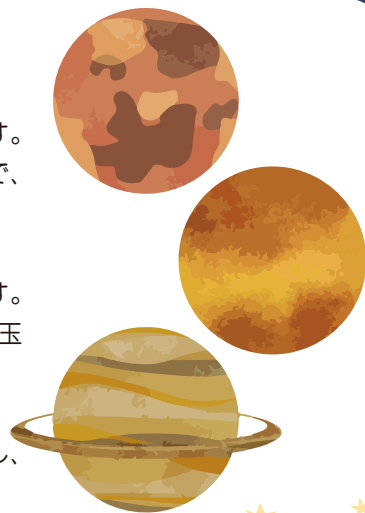
地球と火星は2年2ヶ月毎に接近します。今回の火星と地球の最接近は1月12日23時頃です。このときの火星と地球の間の距離は約9608万キロメートル。接近に伴い明るさも増しますので、夜空に輝く赤い星を眺めるのも素敵です。

1月8日（水）～28日（火）頃 夕方の空で金星と土星が接近

夕空に明るく輝く金星。その近くに土星が輝き、1月にこの二つの惑星が近づくと見えます。一番接近するのは1月18日～19日にかけてです。一番近づくときは、伸ばした手に持つ10円玉の直径の中に二つの惑星が入るほどになります。

2月15日（土）金星が最大光度

この時期の一番星。金星が最大光度をむかえます。この頃の金星の明るさはマイナス4.9等に達し、1等星の100倍以上の明るさで輝きます。



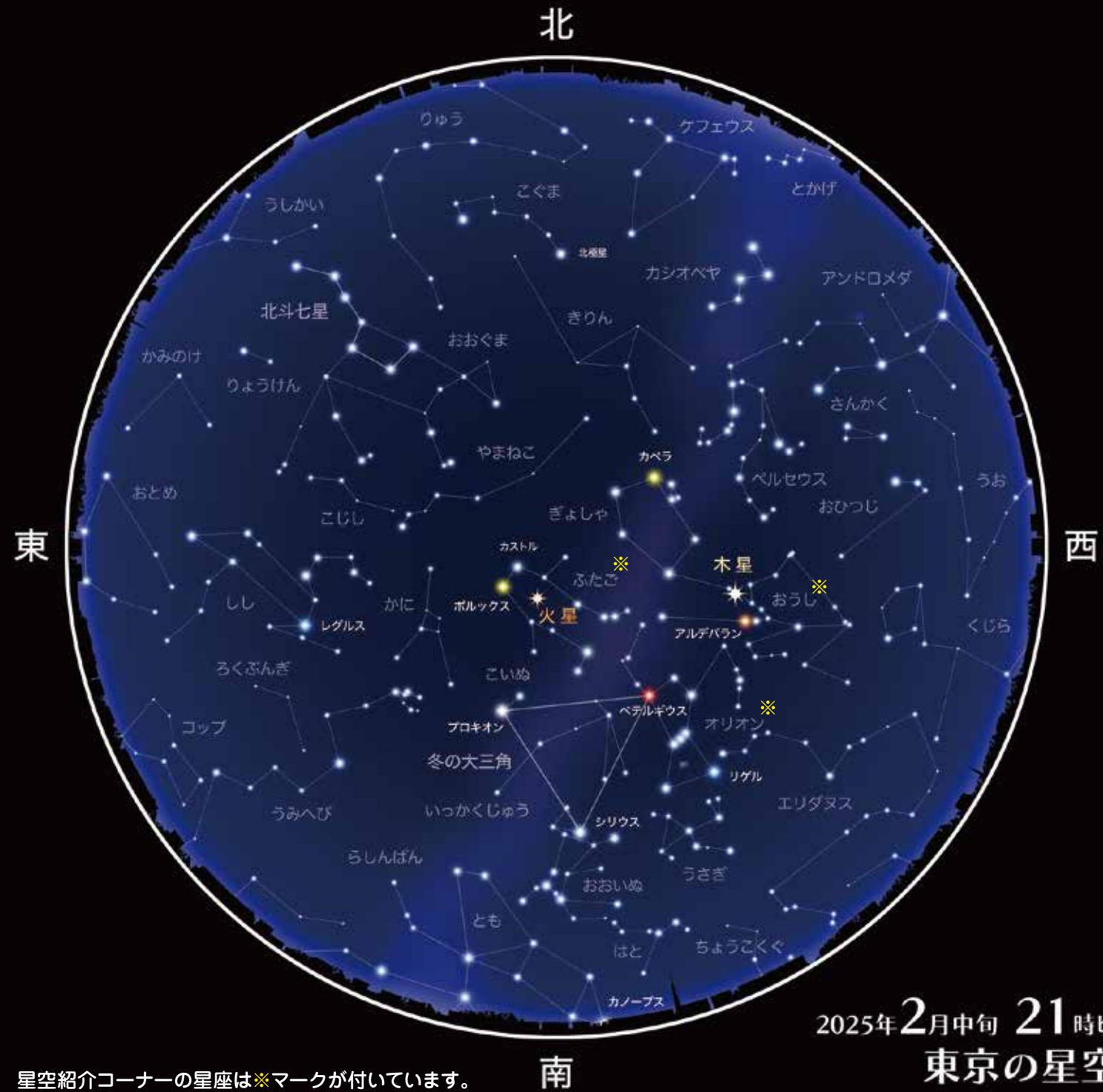
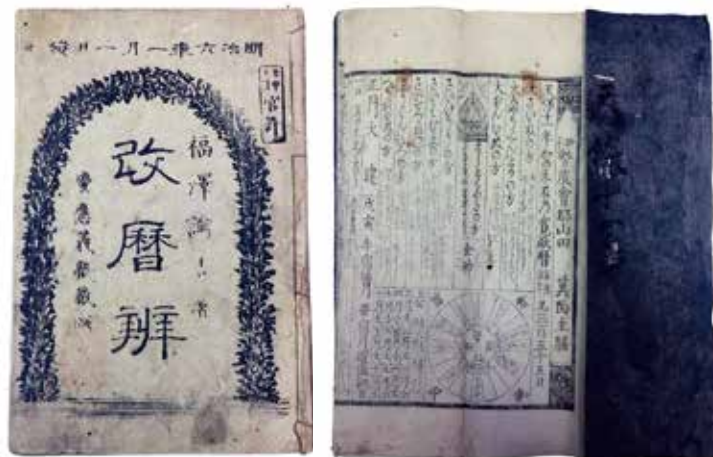
星空ギャラリー

水の館プラネタリウムの入り口奥にある番組テーマに沿った展示スペースです

「カレンダーと暦」

生活に必要な不可欠なカレンダー（暦）はどのようにして作られたのでしょうか？そして昔の人も今と同じようなカレンダー（暦）を使っていたのでしょうか？季節の移ろいを表現する二十四節気の解説など、暦について紹介します。

展示構成：株式会社きら



星空紹介コーナーの星座は※マークが付いています。

2025年2月中旬 21時頃
東京の星空

天文ニュース 紫金山・アトラス彗星

紫金山・アトラス彗星が秋の夜空に彩りを添えました。紫金山・アトラス彗星は8万年周期で太陽に接近するので、この彗星を次に見られるのは8万年後になります。ただ、いろいろな彗星が頻りにやっては来ています。肉眼でも見られるような明るい彗星は、数年に一度くらい。望遠鏡を使えば毎年のように見られます。彗星や流星や惑星の動き。星空は変化に富んだ姿を見せてくれています。

星空ミニクイズ

江戸時代（旧暦を使っていた頃）の1ヶ月の日数は何を参考にしていたでしょうか。



- ① 太陽が昇ってくる時間
- ② 月の満ち欠け
- ③ 天文学者の計算

答えは水の館プラネタリウム入り口付近にあります

今号のスタンプ

スタンプは水の館プラネタリウム前にあります。